

① 題：「来て見て、それから」(38 分)

210619

説教者 : 森田栄作

聖書朗読 : ヨハネによる福音書 1 章 43~46 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『各時代の希望』第 14 章より

「だから魂をキリストに導く最も効果的な方法は、キリストの品性をわれわれの日常生活にあらわすことである。他人に及ぼすわれわれの感化は、われわれの言うことばよりはわれわれの人格次第である。……キリストの柔和が目立っている矛盾のない生活は世における一つの力である。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 67 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 369 番

② 題：「語らずにはいられない」(29 分)

220828

説教者 : 花田憲彦

聖書朗読 : 使徒行伝 4 章 13~22 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『患難から栄光へ』第 6 章より

「彼らとキリストとの結合は、今や、主が人間の姿をとられて彼らと共におられた時よりも、もっと強かった。内住するキリストの光と愛と力は、弟子たちから輝き出て、それを見る人々の目を見張らせた。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 340 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 305 番

③ 題：「終わりの幻、幻の終わり」(26 分)

211016

説教者 : 長谷川 徹

聖書朗読 : ヨハネの黙示録 10 章 10,11 節

瞑想の言葉 : ヘブライ人への手紙 11 章 13,14 節 / E・G・ホワイト『初代文集』71 頁

「この人たちは皆、信仰を抱いて死にました。約束されたものを手に入れませんでした。はるかにそれを見て喜びの声をあげ、自分たちが地上ではよそ者であり、仮住まいの者であることを公に言い表したのです。このように言う人たちは、自分が故郷を探し求めていることを明らかに表しているのです。」

「それから彼は『あなたは、もう一度、地上に帰って、わたしがあなたに示したことを他の人々に語らなければならない』と言われた……時々、わたしはもうここにはいられないような気がする……わたしは天国を見たので、ここにいるのを非常に寂しく思う。ああ、わたしに鳩のような翼があったならば、飛んで行って、休みに入ることができるのに。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 31 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 273 番

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。